

令和6年第32回定例公安委員会会議録

開催日時 令和6年11月7日(木) 午前11時15分～午後2時42分

開催場所 警察本部

第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後1時49分

2 出席者

公安委員会 勝部委員長 久本委員 笠田委員

警察本部 野村警察本部長 森本警務部長 宮田首席監察官
細田生活安全部長 前田刑事部長 山本交通部長
樋口警備部長 濱本警察学校長 坂口情報通信部長
吉村警務部参事官

(事務局等～岩城公安委員会補佐室長、総務課員)

3 議題事項

4 報告事項

- 警察本部長に対する苦情の受理状況(令和6年7月～9月)(警務部)
- 各種大会報告(警務部)
- 令和6年度鳥取県国民保護共同実動・図上訓練への参加(警備部)

(1) 警察本部長に対する苦情の受理状況(令和6年7月～9月)(警務部)

警察本部

本年7月から9月までの苦情の受理件数は、生活安全部門で1件、刑事部門で2件の合計3件であり、対応状況について調査した結果、指摘事実は認められなかった。

今後も、県民の期待に応える活動の推進に努めていく。

委員

取調べに関する苦情について、指摘事実はなかったとのことであった。供述調書の作成については、疑念が生じることのないよう、その都度丁寧に対応していただきたい。

委員

本年7月から9月までの間に、3件の苦情があり、いずれも指摘事実はないとのことであった。申出者の取り方、感じ方により、苦情に発展する例もあると思うので、丁寧な対応をお願いする。

委員

取調べについて、慎重な言動に留意していただきたい。また、職務執行をする際に、県民の所有物を触る必要がある場面もあろうが、丁寧さに欠ける取扱いは苦情に発展する可能性が高いので、十分注意していただきたい。

(2) 各種大会報告（警務部）

警察本部

各種大会報告について、まず大会結果についてであるが、SAGA2024国民スポーツ大会が行われ、ライフル射撃60発競技で、職員が第6位入賞の結果となった。さらに、2024年度全日本スポーツ射撃競技選手権大会では、個人戦のセンターファイアピストルで、職員が6位に入賞した。令和6年度中国四国管区内警察拳銃射撃競技大会では、団体競技は9チーム中第4位の成績であり、個人表彰として、職員が私服警察官用拳銃の部で第1位となった。令和6年度全国警察柔道大会・剣道大会については、上位入賞とはならなかったが、来年以降の結果に期待したい。

次に、大会予定についてであるが、本年11月26日に令和6年度全国警察逮捕術大会及び全国警察拳銃射撃競技大会が開催される予定である。

委員

各種目とも、日頃からしっかりと訓練を積み重ね、良い結果につながった方と惜しくも残念な結果になられた方がおられたと思うが、次の大会では、今回の結果を上回れるように頑張っていたいただきたい。

委員

射撃部門に関して、上位は僅差であったと思うが、見事な結果である。上位入賞の結果は、県民にとって朗報であり、今後も引き続き、頑張っていたいただきたい。

柔道・剣道は、心技体を鍛える国技であり、その中でも剣道は、オリンピック種目にはなっていないものの、警察が支えている競技だと感じている。

委員

射撃競技については、直接見たことがないので、来月視察させていただき、競技の大変さなどを感じ取りたいと思っている。各種目とも、今後も頑張りたい。

(3) 令和6年度鳥取県国民保護共同実動・図上訓練への参加（警備部）

警察本部

鳥取県国民保護共同実動・図上訓練は、武力攻撃等の事態に際し、国民を保護するための措置を的確かつ迅速に実施するため、関係機関の機能確認及び相互の連携強化を図るとともに、保護措置に対する国民の理解促進を目的としており、国民保護法を根拠として実施するものである。本訓練は、毎年度、全国から2都道府県が指定される国重点訓練である。

想定については、鳥取市の海岸において、接岸した無人の不審船が発見され、複数の者が上陸した痕跡が認められたことなどから緊急対処事態の認定がなされ、国の避難措置の指示を踏まえ、県が避難を指示する。その後、鳥取市による避難実施要領を決定し、鳥取市の一部地域の住民の域外避難等を実施する流れとなる。

本訓練の反省・教訓を通じ、関係機関との連携強化、有事における県民の安全確保に万全を期していく。

委員

大規模な訓練であり、政府機関、地方公共団体等、指定公共機関など、多くの機関が連携しての訓練となる。今回は、接岸した無人の不審船が発見されたという想定であり、訓練をしていくうちに問題点も確認できると思う。今回に終わらず、県内でも継続して訓練を実施していただきたい。

委員

こうした訓練の必要性が高まっていることは残念であるが、国民保護の観点で考えると、警察と自衛隊の役割は非常に重要であり、核になると思っている。訓練を通じて問題点を把握し、今後活かしていただきたい。

委員

この度の訓練想定内容が実際に発生したらと思うと、恐怖心を抱く。いつ、どこで、何が起こるか分からないので、公安委員としても危機感を持ち、有事の際のことを考えながら行動していきたい。こうした訓練を実施していただけると、

県民として安心できるので、今後も引き続きよろしく願います。

第2 その他の公安委員会活動

1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取3件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 聴聞

運転免許課から、道路交通法に基づく聴聞1件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

3 事前説明

令和6年度鳥取県国民保護共同実動・図上訓練への参加

4 報告事項

- ・ 取調べ監督関係報告
- ・ 監察報告
- ・ 公安委員会宛て苦情の受理について

5 決裁

- ・ 警察職員等の援助要求
- ・ 車両の使用制限にかかる処分決定

6 公安委員会委員間の事前検討・協議等

7 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。